令和4年度 事業報告

概要

長期に及ぶ感染症の影響に加え、ウクライナ情勢に端を発した国際情勢の変化により、経済への影響も大きい中、シルバー人材センターの基本理念である「自主、自立、共働・共助」のもと、働きがいを見つけ、地域社会に一層の活力を生み出すとともに多様化する地域のニーズに応えるべく新規会員の加入を促進し、就業の確保・拡充によりセンター機能の強化に努めたが、会員の就業機会及び会員数ともに減少し、昨年に続き厳しい1年となった。

① 受託事業・労働者派遣事業

受託事業では、新型コロナウイルス感染症等の関係で受注機会も回復せず、契約額は昨年度に比べ更に減少し約 180 万円減の 98.4% となっている。

一方、派遣事業実績では回復基調にあり、最低賃金の改定や一部事務費率の見直しがあったことで、昨年度に比べ 約 1,220 万円増の 116% となっている。

② 調査研究

公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会主催の各種研究会に参加、また、民間主催の研修会・講習会に参加し研鑽を重ね、事業の推進・強化を図った。

③ 普及啓発

地域住民、事業所などに対しシルバー事業の活用並びに会員の加入促進を図るため普及啓発に努めた。

☆ 会報「第59号」「第60号」を発行し、関係機関、公民館などに配布

☆ カレンダー等啓発資材を配布

☆ 普及啓発月間（10月）に合わせ「銭形砂絵」内の除草ボランティア活動を実施

☆ 会員の作成した会員募集ポスターを支部、公民館、社協事務所等に掲示し、会員拡大とシルバー事業の啓発活動を実施

④ 安全・適正就業

安全就業については、会員とともに公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会主催の安全・適正就業対策推進会議、安全に関する研修会・教室等に参加し、安全意識の向上に努めるとともに、適時就業先を訪問し安全指導を実施、就業中及び就業途上の事故防止に配慮した。

適正就業については、「適正就業ガイドライン」を遵守すべく、発注者・会員に周知を図

り、請負として適正でない契約については発注先に対し派遣契約への転換を依頼した。また、「共働・共助」の意識を高め、ワークシェアリングによる会員のローテーション化を一層進め、公平な就業機会の提供に努めた。

⑤ 会員の増強

年度当初の更新時に、加齢、体調等の理由により会員が多く退会したが、定期的な入会説明会を開催することで新たに47人が入会したものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴う就業機会の減少もあり、結果として昨年度末から12人の減少となり、新規入会者数が退会する会員の数を下回ることとなった。

今後も適切な就業あっせん等により会員の満足度アップを図り、加齢等身体的理由以外の退会者を減らす一層の努力が必要である。

☆ 令和3年度末　353人 （当初退会）54人

（入会） 47人 （途中退会） 5人　　令和4年度末　341人

⑥ 諸会議の開催

当センターの維持運営の執行に関して必要な会議を、次のとおり開催した。

☆ 定 時 総 会　　令和 4年 6月 3日 開催 （限定開催）

☆ 第1回 理事会　　令和 4年 5月13日 開催

☆ 第2回 理事会　　令和 4年 6月 3日 開催

☆ 第3回 理事会　　令和 4年 8月 1日 開催 （書面決議）

☆ 第4回 理事会　　令和 4年10月 7日 開催

☆ 第5回 理事会　　令和 4年11月29日 開催 （書面決議）

☆ 第6回 理事会　　令和 5年 3月27日 開催